

大いなる飛躍へ

 JA上川中央

えのき収穫選果
最盛期!!

2013

NO.68

発行・上川中央農業協同組合

愛別町本町125

Tel(01658)6-5311

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>

編集・宮 農 振 興 課

11



平成25年11月19日

農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で66年目を迎えました。

戦後の混乱期に食料確保の必要性とあわせて農民の自主的立場を確保するため、農村の民主化が最重要課題であった時代背景の中で、農協法が施行されるとともに農協が成立しました。

農協は「農民の農民による農民のための組織」で、相互扶助の精神が脈々と受け継がれ、農協を拠り所としてこれまで幾多の困難な環境変化を乗り越えるとともに、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会を築くことをめざして今日に至っています。

農協法は、時代の変化に即して必要な改正がなされておりですが、農協事業・組織運営の基本法として位置づけられ、極めて重要な役割を果たしております。

農協法公布記念日を契機に、農協の社会的定義と役割について改めて組合員・役員が心に刻み、共通意

識を深めることが重要であります。

国連は、協同組合の位置付け・役割を再認識し、協同組合活動のさらなる充実強化をはかるべく、平成24年を国際協同組合年（IYC）と定め、世界各国で関連する取組みが行われております。

協同組合組織の一員としてわたしたちは、農家組合員の営農と生活の安定向上をはかることを第一義として、地域社会全体の発展のため、その役割と機能をより一層発揮することが重要であります。

一方、世界的に食料・環境問題や社会・経済をめぐる多くの情勢変化が起きており、それに伴い、農業やJAをとりまく環境も影響を受けております。

直近では、TPP交渉問題や農業・農協等の規制改革の動きが大きな課題となっておりますが、TPPと規制改革は表裏一体の課題であり、改めて農業・JAの位置づけ並びに役割の重要性について、国民各層の理解を得る努力を行いながら、地域農

業・地域社会の安定的発展につながる取組みを進める必要があります。

とりわけ、TPP交渉については、我々の声に理解を示さず半ば強引に交渉参加がなされるとともに、情報開示が極めて不十分な中、国民不在のもとで協議が進められておりますが、TPPが聖域なき関税撤廃のみならず、ルール改正や規制撤廃を同時に進める危険な協定であるとの認識に立ち、国会決議や自民党決議の遵守を強く求めていくとともに、不可能である場合は、直ちに交渉から脱退する必要があります。

併せて、わたしたち一人ひとりが国民生活全体に大きく影響する交渉であることを各方面に広く訴え、理解を喚起する活動を粘り強く展開していくことが重要であります。

JAグループ北海道は、昨年開催した第27回JA北海道大会において、組合員の総意のもと「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」を決議しました。

時代の変化とともに農協の組織・

事業の在り方についても、必要な見直しを行っていくことが求められますが、そのことは、「ひとりでは万人のために、万人はひとりのために」との協同組合の基本理念を前提においた取組みであることが重要であります。

関係者総力のもとで農業環境の改善に向けた努力を傾注することも、若手農業者への農協理念の継承、女性農業者の農協事業への参画等を併せて行いながら、地域農業JAを担う人材づくりをいかに進めていくかが喫緊の最重要課題であると考えます。

また、JAの対外的な役割並びに責任が高まっている昨今にあつては、必要な自己改革を進めながら、組合員をはじめ地域住民・消費者のニーズに応えうる事業展開とJA事業への結集による競争力強化、健全なJA経営態勢の確立、農業・JAの理解促進に向けた情報発信等を進めていくことが重要であります。

「農」は国のいしずえであり、食は命に直結するものであります。長年にわたり先代が築き上げた北海道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに強固なものにし、後世にしっかりと継承するよう共にがんばろうではありませんか。

今後とも北海道農業並びにJAがますます発展することを心から祈念し、農協法公布記念日にあつてのご挨拶といたします。



全国3,500人が集結～怒りの声を訴える

TPPから「食と暮らしのいのち」を守り『国会決議の実現』を求める全国代表者集会参加!!

10月2日、日比谷野外音楽堂（東京都千代田区）で、TPPから「食と暮らしのいのち」を守り『国会決議の実現』を求める全国代表者集会が開催され、当JAからも野口専務が参加しました。

台風の影響で風雨が強まる中でしたが、全国から3500人が集まり、怒りの声を訴えました。

実行委員会代表の萬歳章 JA全中会長は、「TPPは食の安全安心、医療、保険、ISDなど国民生活に直結し、国家の主権を揺るがしかねない問題を含んでいる。4月の国会での決議とおり辞退も辞さない、という不退転の決



意で交渉に臨むことを国民に約束しなければいけない」と国会決議を遵守するよう強調しました。

このほか、全国各地から選抜された9名がリレーメッセージでTPPへの反対や交渉からの脱退を訴え、東北地方の農業生産者は、復興が遅々として進まないことにも触れ、加えて重要5品目と甘味資源の関税は撤廃しないとした衆参農林委員会の決議の死守を求めました。

Information

事業主の皆さんへ

11月は、労働保険適用促進強化期間です！

労働保険の加入はお済みですか？
労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を1人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

【問い合わせ先】

厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課（011-709-2311）
最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所



大雪高原牛ステーキと愛別きのこ汁でお出迎え 食のガーデンinかみかわ町2013「収穫感謝祭」出店!!



9月22日、北の森ガーデン（上川町）で食のガーデンinかみかわ町2013「収穫感謝祭」が開催され、当JAも特産品を出店しました。

今年初めて開催された収穫感謝祭は、『がんばろう！食道39号線実行委員会』が主催、上川管内を代表する味覚の他に紋別市と増毛町からの海の幸も楽しめるイベントで、紅葉シーズンが始まり天候に恵まれた事もあり約5000人が訪れました。

当日は、手打ち大雪そばや増毛町の甘海老ラーメンなどの美味しい味覚と一緒に当JAの特産品も販売、朝もぎ母さんの会の野菜や馬鈴薯詰め放題、大雪高原牛サイコロステーキや愛別きのこ汁は早々と完売する盛況で沢山の方に楽しんで頂く事ができました。



お客様から「美味しい」と嬉しい一言も… 札幌市場『消費拡大フェア2013』出店!!

9月22日、札幌市中央卸売市場内で消費拡大フェア2013が開催され、当JAも出店しました。

道内から集まった美味しい味覚の他にもマグロの解体ショーや野菜の詰め放題など沢山の企画もあり、朝8時前からの開催にも関わらず多くのお客様で賑わっていました。

当JAは旬の味覚、きのこ汁ときのこの詰め合わせを販売、きのこ汁を食べたお客様からは「美味しい」と嬉しい一言もあり、開始から3時間ほどで完売する盛況ぶりでした。

10月は「きのこの日」がある旬の季節、催事PRなどを通じて多くの方に愛別きのこの美味しさを伝えていきます。





旬の味覚『愛別きのこ』ファン拡大中!! きのこPR催事出店!!

きのこの消費拡大イベントの一つとして、10月12日・19日に札幌市内のアーケスグループの量販店で、又10月6日には「第8回とうま新米・新そば祭り」などで催事活動を行いました。

晩秋の季節らしく肌寒い天候の中で、「きのこ汁」を食べたお客様から「とても美味しい」「やっぱりきのこは愛別だね」と嬉しいお言葉をいただく場面もあり、物販も盛況のうちに終えることができました。

これからきのこのシーズンに入りますが、より良い販売ができるよう今後もしっかり取り組んでいきます。



クミアイ自動車学校は、
長年の信頼と実績。広～いコースで安心・快適教習!!

普通車の運転免許も
お得なプランを用意して
お待ちしております。

- 当校で取得できる免許 ●
- 普通免許 普通二輪免許
- 中型免許 大型二輪免許
- 大型免許 けん引免許
- 大型特殊免許 他

確実に合格へ導く
効果的なカリキュラム

- 【学 科】 【シミュレーション】
- 【コース内教習】 【路上教習】
- 【高速教習】

もちろん、無料送迎バスも運行中

公安委員会指定
北海道クミアイ自動車学校

旭川市永山町8丁目182番地 f 0120-887-931

JA特別優遇制度あり

免許のお申込みは、JA上川中央総務6-5311まで



祝全道チャンピオン(有)グリーンサポート 北海道枝肉共励会「交雑牛の部」

今後もし生産者とJAが一丸となり更に安定した品質の向上に努めていきます。

ここ数年入賞が続き勢いがある中で、最優秀賞の受賞となりました。

今年も全道各地の肥育生産のプロが育てた枝肉が、交雑牛の部・乳用種肥育牛の部に分かれて審査される中、交雑牛の部で(有)グリーンサポートが出品した枝肉が「最優秀賞」に選ばれ、晴れて『全道チャンピオン』に輝きました。

10月19日、北海道畜産公社(帯広市)で平成25年度北海道枝肉共励会が開催され、当JAから久米啓一さん(金富地区)、(有)入谷牧場(豊里地区)、(有)牛乃屋(伏古地区)、(有)グリーンサポート(菊水地区)が出品しました。



愛別町のえのき茸生産を学ぶ… 帯広畜産大学の学生が視察見学



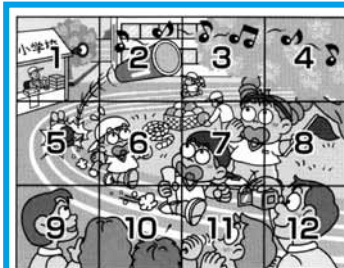
視察見学の最後には、宮田代表より「えのき茸生産には魅力があり、次世代の後継者も増えています。是非、仲間として一緒に働いてみませんか!!」とエールも送りました。

10月25日、帯広畜産大学の学生17名がえのき茸生産を勉強するため愛別町を訪れました。当日は、農事組合法人ヒット宮田代表や菊地工場長のご協力を頂き、愛別町のえのき茸生産の取り組みや生産現場を視察見学しました。

学生達からの積極的な質問に代表と工場長は丁寧な説明で対応され、有意義な研修になったのではないのでしょうか。

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を探しましょう。



先月の答え

- 1…賞品が少ない
- 3…音符の形が違う
- 6…網の長さが違う
- 8…メガホンが旗に変わっている
- 9…髪型が違う

今月の顔

のぐちしゅんのすけ
野口俊之介さん
(中央地区)

(農)ヒット勤務

| | |
|-------|----------|
| ○生年月日 | S51年4月9日 |
| ○出身地 | 愛別町 |
| ○趣味 | 剣道、ゴルフ |
| ○家族構成 | 父、母、弟、妹 |



○農業をしようと思ったきっかけ

父がきのこ生産をされていて手伝い程度はしてきましたが、当時は就農することには興味が無く、大学卒業後農業とは全く関係のない会社に勤めていました。しかし年月が経つにつれて気持ちが次第に変わり、最終的に家業を継ぐ決断をしました。

○農業をしてみても思ったこと

就農するまでは経験が乏しく、知識もないので難しさを感じています。しかし、気持ちや時間的な面では会社員だった頃とは違った楽しみを得ています。



○本人から一言

きのこ生産に携わってまだ日が浅い(平成22年就農)ので、勉強しなければいけないことを痛感しています。現在は農業法人での事務業務を中心に仕事していますが、家業を継ぐ以上、現在よりもよりよい経営を目指したいと思っています。

“もしもの未来”から見えてくる やっぱり大切だね、日本の豊かな食と農 9

外国が食料を
売ってくれない…

近未来予測! 輸入に頼りきっていると、こんなことに!



緊急時に対応できる「食料自給力」が大切

日本の食料自給率は、カロリーベースで39%。約6割を輸入に依存している計算になります。気候変動や地域紛争、世界人口の増加など、食料を取り巻く国際情勢はつねに不安定。TPPによって関税が撤廃され、食料自給率がさらに下がってしまったら、わたしたちの食料をまかなえなくなるおそれがあります。

こうした事態を防ぐには、日本の食料自給率を高めることはもちろんですが、「食料自給力」を向上させることが不可欠です。これは、緊急時に日本の農業がどれくらいの生産力をもっているかを表す指標です。

食料自給力を高めるためには、高齢化や耕作放棄地など、農業が直面している課題を、まずは解決しなければなりません。そのうえで、農業資源、担い手、技術力といった食料生産を支える基盤を整えることが大切。つまり、総合的な農業の力を高めることこそが、食料を安定的に確保することにつながるのです。

(監修/東京大学大学院教授 鈴木宣弘)



第9回 JA上川中央杯ゴルフコンペ



10月2日、旭川国際カントリークラブで第9回JA上川中央杯ゴルフコンペが開催され、日頃お世話になっている関係者の方々など総勢92名の大会となり、JAからは新井組合長と関係職員が一緒に参加しました。

当日は、晴天にも恵まれ爽やかな秋の1日となり、大会の賞品には、ななつぼし新米、大雪高原牛と溪谷味豚の詰め合わせ、きのこ詰め合わせをはじめ、地酒「ふしこ」やそば焼酎「黒岳」、きのこ加工品、そして今年新発売となった大雪そば乾麺などが入賞者・参加者に贈られました。

JAの特産品をPRするために開催している大会も9回目となり、特産品PRと共に仲間の輪も広がっています。



笑い声が聞こえる楽しい大会… 愛別地区年金友の会パークゴルフ大会開催!!

- | | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|----------|
| 優勝 奥山 勲 | 準優勝 尾崎 文雄 | 三位 佐藤 光孝 | 四位 深瀬 則雄 | 五位 高見 忠志 |
| 優勝 佐橋 和子 | 準優勝 若松アサ子 | 三位 舟橋 定子 | 四位 小山 芳 | 五位 室山奈津子 |

10月2日、愛別きのこの里パークゴルフ場で愛別地区年金友の会主催の第27回パークゴルフ大会が開催されました。

総勢38名が参加した大会は上川地区からも3名が参加して、秋晴れのもと好プレーや珍プレーがあり、笑い声が聞こえる楽しい大会となりました。

これから年金を新規に受給される方も、一緒に年金友の会の行事に参加してみませんか。



するーライフ

ヨーコカワシマ・ワトキンス著「竹林はるか遠く」は、アメリカで刊行され20年を経た今、ようやく日本語に翻訳され書店の棚に並べられた。アメリカの中学校の教材としても採択された、終戦時にはまだ幼かった著者の体験秘話である。朝鮮半島北端の町「羅南」に住んでいた家族は、終戦に乗じて南下したロシア軍を逃れ、混乱の朝鮮半島の中央部の山野を歩いた。父親はシベリア、兄は軍需工場と離れ離れになりながら、母と姉、著者の女性3人の逃避行を、生々しいタッチで描写している。著者は当時7歳であった。

「羅南」の自宅の庭の竹林は、家族の平和な生活の象徴であったが、すぐそこまで危険は迫って来ていた。取るものも取りあえず、やっとの思いで、負傷者を運ぶ赤十字貨物列車に飛び乗ることができた。リュックの中は間に合わせの物だけだ。風の中を走る貨物列車で見た光景は、著者のその後の人生観に大きな影響を与えた。乳房を口にあてても、それを吸うこともなく泣くこともなく果てていった幼子。その子を処置して、列車から投げる衛生兵。その後を追って身を投げる親。著者は自分の目の前で展開する地獄絵を、淡々と綴っていく。先頭車両2軸が空爆を受け、九死に一生で脱出する。それから、置き手紙で兄との待ち場所とした京城の駅を目指して、3人だけの長い逃避行が続いた。やっと辿り着いた京城駅で、母は何日も息子を待った。しかし、情勢の更なる悪化を読み取った母は、木材移送の貨物列車で釜山まで行くことを決断した。そして多くの幸運にも恵まれ、何日も待たされはしたが、釜山港で貨物船に乗り込み、懐かしい日本の地を3人は踏みしめた。このドラマは日本への帰還で終わりではなかった。終戦直後の博多の港へ上陸して、姉妹だけになった境遇の中で、いかに遅(たくま)しく強く生きたかを語っている。愛しい母親は、待ちに待った祖国の土を踏んだが、日本での移動・実家の喪失、そして大陸での辛苦からか、居を構えようとした京都の駅で息絶える。姉妹のその後の生活ぶりも、何も臆することなく、見事に綴られている。著者は名前でも分かるように、大陸と日本で手にした強靱な生命力を宝に、通訳者となってアメリカに渡り、幸せな家庭を築いている。

戦争を知らない世代の層が広がって行く今、お勧めしたい一冊である。



※このコラムは連載です。



■ 職場からこんにちは！



総務課 課長
奥山春彦

明るく元気なメンバーで 農協内部を支えます！！

総務課は、出資金管理や農協資金の運用・職員の給与及び福利厚生・農協施設管理等の内部に係わる仕事が多いため、太陽に直接当たることもなくパソコンと睨めっこしている色白美女・美男子が多い部署です!? 明るく元気なメンバーで組合員の皆さまに更に安心してご利用いただける農協運営を目指しますので、今後ともよろしくお願い致します。



係 長
武川 佳樹



主 任
石田奈津子



係
堀内 加奈



(準)
緑川 恵子



(パ)
黒田 博



内部監査 室長
奥智尚

内部監査って何？

内部監査とは、堅く言えば経営者の経営目標の実現のため、組織が適切に整備され合法かつ合理的に運営されているかについての内部監査人による客観的な検証・評価・報告活動です。平たく言えばコンプライアンス（法令遵守）ということばをよく耳にすると思いますが、JAの行う事業が農協法、定款をはじめ規程、要領等に沿って事務処理されているか主に検証する仕事です。

また、秋には米の検査員として組合員の皆様にお世話になっております。今後ともよろしく申し上げます。

JAのあゆみ

10月

- 1日 定例企画会議
- 2日 JA女性部愛別支部第2回役員会
PPP対策全国集会(東京)
- 4日 第9回JA上川中央林ゴルフコンペ
(旭川国際CC)
- 6日 年金友の会パークゴルフ大会(愛別)
- 8日 ノーザンびー産直協議会(十勝)
- 10日 とつま新米・新そば祭り(当麻)
- 12日 札幌三越催事(札幌)
- 14日 ビックハウスエクストラ店催事
(札幌)
- 16日 上川地区農協専務協議会
道外視察(広島・岡山他) 19日
- 18日 JA女性部上川支部部長会議
愛別町農業青色申告会第3回役員会
アルータ旭川感謝フェア
- 20日 国営農地促進期成会第4回幹事会
(管理棟事務所)
- 22日 平成25年度北海道枝肉共励会(帯広)
- 24日 スーパーアークス北24条店催事
(札幌)
- 26日 コープさつばろシーナ店催事(旭川)
- 28日 第8回農家経済対策委員会
- 30日 JA青年部愛別支部例会
- 31日 中央JA合同自動車展示会
(ホクレン油機) 27日
- 第9回定例理事会
- なかながびーふ枝肉共励会(東京)
- 女性部上川支部視察研修旅行
(30日 千歳・札幌方面)
- かみかわ町商工会趣まつり
- 森産業舞音巡回指導(1日)
- 第3四半期棚卸

第8回理事会

平成25年9月27日

■報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 合同専門委員会正副委員長会議の報告
について
3. JA教育資金贈与専門口座の取扱につ
いて
4. 内部監査室監査報告について
5. 内部審査協議会監査の結果について
6. 外部団体に対する委員の推薦について

■議事

1. 組合員の加入報告並びに組合員資格に
ついて
2. 組合員の相続並びに譲渡について
3. 組合員の出資減口について
4. 第2四半期JA監事監査の結果につい
て
5. ホクレントトラックの入替について
6. 固定化債権の取扱について

組合員のうごき

(平成25年9月27日現在)

| | |
|---------|--------|
| 正組合員戸数 | 398戸 |
| 組合員数 | 2,656名 |
| うち正組合員数 | 618名 |
| うち正団体数 | 36団体 |
| うち准組合員数 | 2,038名 |
| うち准団体数 | 74団体 |

《先月号の訂正》

先月号の冬季営業日・時間変更のお知らせの中に一部間違いがありましたので訂正してお詫び致します。

Aコープ(愛別店・上川店)

平日・土曜日 9:00~18:00
祭日 9:00~17:00

期間: 11月1日~平成26年4月30日



大変お世話になりました



愛別店舗係
高橋 芳勝
(10月31日付)

よろしく
お願いします



愛別店舗係
上野 泰史
(10月23日付)



JA上川中央女性部 愛別支部からのお知らせ
第5回 元気な食をいただきます in あいべつ開催

JA上川中央女性部 愛別支部では「元気な食をいただきます in あいべつ」と題し、部員交流会を開催致します。
各地区より持ち寄っていただいたお料理を皆さんで会食し、お料理の紹介や、持ち寄っていただいた景品の交換会等を行います。
たくさんの方のご参加をお待ちしております。

- ・と き 平成25年12月5日(木) 13:00より
- ・と ころ JA上川中央 本所3階 大会議室
- ・お問い合せ JA上川中央女性部 愛別支部事務局 TEL 6-5315

今月号の表紙

えのき収穫選果最盛期
(農ヒット)共同選果施設

